八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター＜わいぐ＞」
情報誌
2024.6 月号 No.83

WAIGU

マスコットキャラクター「わいぐりん」

～もくじ～

●新規登録団体のご紹介……1
●編集委員が気になった登録団体のご紹介……2
●わいぐ情報クリップ……3
●スタッフおすすめ わいぐライブラリィ……3
●助成金情報……4
●編集後記……4

五戸まちづくりワールドカフェで対話中の様子

●新規登録団体のご紹介●
一般社団法人わのまち

代表理事長　**木村優哉**さん

当時地元八戸の大学に所属していた時にまちづくりの活動に参加し、まちに入り込むことで見える地域の顔や人の魅力に惚れ込みました。自分の人生の選択肢を広げてくれた地域の方との出会いをもっとたくさんの人に知ってほしい、そんな出会いがある場を自分も作りたいという思いを持つようになりました。

社会人になってまちづくりの活動に関わる中で、地元の高校生に地域との接点を持てる機会がつくれないかと思っていた際に、ピッタリの助成金を見つけ、応募して採択をいただきました。それをきっかけに活動を続け、昨年度、一般社団法人「わのまち」を設立しました。

また、五戸町が主催する、「五戸まちづくりワールドカフェ」に参加する中で、当時五戸高校に在籍していた生徒が、地域の大人との対話の中で一歩を踏み出す姿を見て、このモデルが広がると主体的に動き出す活動が連鎖的に増えていく可能性があると思い、地域の大人と若者の出会いが生まれる拠点をつくろうと「ごのへユースセンター」という拠点を整備して運営を始めました。

現在も、主に高校生と地域を繋ぐことで地域でのチャレンジを生み出し、それを応援できる場をつくることを目指し活動しています。若者が知らない・繋がっていない地域との出会いを繋ぐおせっかいを続け、その中でそれぞれがやりたいことにチャレンジし、生まれた活動を応援しあう場を創出し続けていきたいと思っています。

整備した拠点の「ごのへ ユースセンター」の入り口で

編集委員が気になった登録団体のご紹介

●新井田川をきれいにする会

代表　**髙橋克雄**さん

住民が、つねに健康で快適な生活環境を維持することを目的として 1972 年 6 月に発足しました。活動は新井田川の環境美化を図るために、河川敷の清掃、河川敷花壇の整備や花苗の植栽等を年間 3 回行っています。会員は地域の各団体をはじめ一般の方を含め約 100 人。清掃活動は、日曜の朝 1 時間程度で、サイクリングや散歩コースとして利用されている土手を整備しています。重労働ではないので、おしゃべりをしながら歩く人たち、孫を連れたおじいちゃんや小学生、中学生も参加します。平成 25 年には青森県知事より功績を認められ表彰状をいただきました。今後も環境美化活動に努めていきたいと思っています。　（担当　赤坂）

●地酒研究会 はちのへ

会長　**赤坂　敬**さん

地元のおいしいお酒を多くの人に知ってもらおうということで、「**地酒で地元を**盛り上げよう、**地元で地酒を**盛り上げよう」のスローガンのもと、学識者や企業、地酒愛好家が集まり 2009 年 7 月に活動を始めました。地酒にあう料理の発見や、県内や東北の蔵めぐりなどを行っています。そういった活動の中で 2011 年、日本酒の日とされている 10 月 1 日に、「日本全国地酒で乾杯 !!」というイベントが生まれました。コロナ禍で、これまで 1 回休みましたが、今年の開催で 12 回目を迎えます。現在では青森県はもとより、東北の蔵元や東京の居酒屋との連携ができ、Zoom で参加するまでになりました。今後は、食の観光資源としての地酒を多くの人に知ってもらえるよう、活動を続けていきたいと考えています。

（担当　黒澤）

●縄文是川ボランティア

代表　**村中　健**さん

縄文是川ボランティアは 1996 年 10 月に組織され、現在登録している人数は 39 名です。

われわれボランティアの活動は是川縄文館の事業をサポートすることで、具体的には来館するお客様のうち、展示内容の案内を希望する場合のガイド及び土器・土偶・編布づくり等を体験したいという場合の指導です。普段はそれに備えて準備や練習を行っていますが、そのために広報班・土製品班・衣食班という３つの班がいろいろな活動を企画し、参加者を募って実施しています。今年度から体験学習で制作したものをそのまま持ち帰りができるように、焼かない粘土を使用することになり、そのための練習に励んでいます。

また、縄文遺跡群の世界遺産登録後、縄文に深く興味を持つ人が増えているので、ガイド研修もさらに必要になっています。　（担当　佐々木）

→詳しいチラシもご用意しています

わいぐで楽しく ステップアップ

パソコン・SNS 相談

開催日時：毎月第２火曜日

●パソコン相談＝13:30～15:30（定員５名）

●SNS 相談＝15:30～17:00（1団体２名まで）

市民活動なんでも相談

毎月第３火曜日開催

※組織・活動・資金・人材のこと、
活動に関する悩み、なんでも話してください

～お問合せ・申込方法～

いずれも、わいぐ窓口、電話、E-mail にてお申し込みください。

［わいぐ登録団体限定］

活動の PR の力向上 プレゼンスキルアップ講座

●パワーポイントでプレゼンデータ作成編

7月3日（水） 13:30～15:00

●みんなでプレゼン実践編

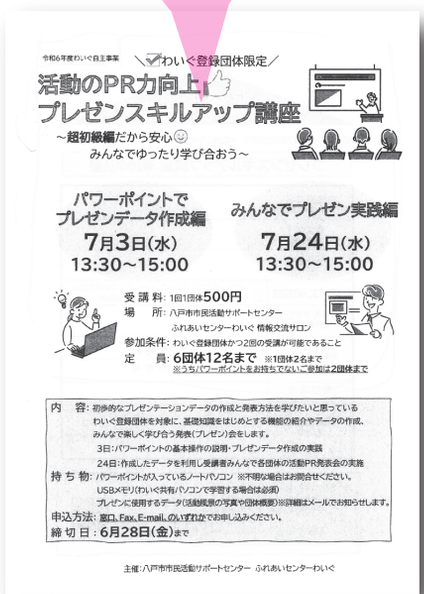
7月24日（水） 13:30～15:00

受講料：1回1団体 500円

場所：八戸市市民活動サポートセンター
ふれあいセンターわいぐ情報交流サロン

参加条件：わいぐ登録団体かつ２回の受講が可能であること

定員：６団体 12 名まで（※うちパワーポイントをお持ちでないご参加は２団体まで）



→詳しいチラシもご用意しています

『WAIGU de MAMA・igu』掲載団体募集!!

（わいぐ で ままいぐ）

子育て中のパパ・ママに、子育て支援団体やお役立ち情報を伝える小冊子に掲載しませんか？

●募集内容＝団体名･ひとこと PR、QRコードやホームページの URL 等

「WAIGU de MAMA・igu（わいぐ で ままいぐ）」をご覧になりたい方やお問い合わせは「わいぐ」へお願いいたします。

●ふれあいセンターわいぐ●
担当：ままいぐプロジェクトチーム

●個人メール会員を募集します。

イベントや助成金など、わいぐから各種情報がメールで提供されます。
登録は無料。左の QR コードからお申し込みください。

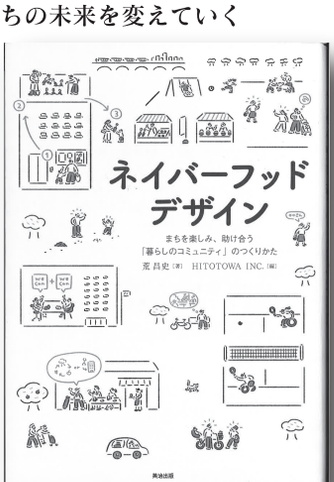
※詳しくは、わいぐまでお問い合わせください。

スタッフおすすめ わいぐライブラリィ

わいぐでは、住民活動に役立つ書籍や冊子を閲覧できます。
また、わいぐ登録団体の会員は借りることもできます。

ネイバーフッドデザイン

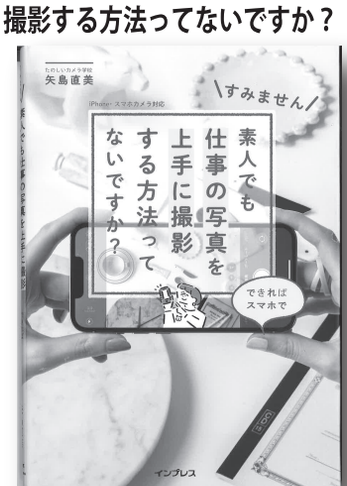
「ゆるやかなつながり」が
まちの未来を変えていく



発行　英治出版株式会社
著者　荒　昌史
発行日　2022 年 4 月 27 日

「近くに暮らす人たちの関係性を育むことで、まちの課題を解決する。都市部におけるコミュニティ開発の新たな思想とメソッドを、実践例を交えて紹介。まちづくりや都市開発、エリアマネジメント、団地再生に携わる人はもちろん、自治会や商店会、マンション管理組合の関係者、そして自分の住むまちを良くしたいすべての人のための一冊。

すみません
素人でも仕事の写真を上手に撮影する方法ってないですか？



発行　株式会社インプレス
著者　矢島直美
発行日　2022 年 6 月 21 日

商品・Web・SNS 用の「心にさざる」「買いたくなる」写真はスマホ１台で撮れます !!
iPhone・スマホカメラで撮影できる、商品ページや情報発信用の商品写真の撮り方を紹介。
この本では「撮影が苦手」という人でも実践できる、これだけ覚えておけばいい撮影の基本や、小物1～2 個からできるスタイリングアイデアなどを紹介。
難しく感じる商品写真もちょっとしたコツを押さえるだけでグッと魅力的な写真に仕上がります！

助成金情報

※その他の助成金情報は「わいぐ HP」でもご覧いただけます。

まちづくりインターン助成金

◇申請期限
令和 7 年 1 月 31 日（金曜日）まで
◇対象団体
市民活動団体（ボランティア団体・NPO 法人等）や、地域コミュニティ活動団体（町内会・子ども会・PTA 等）で、次の要件をすべて満たす団体が対象となります。
・八戸圏域内（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）に拠点があること
・団体の構成員が 5 人以上であること
・団体の意思を決定し、執行する組織が確立されていること
・法人の場合、法人市民税・固定資産税・軽自動車税を滞納していないこと
・公共の利益に反する行為を行わない団体であること
・今年度、当助成金の交付を受けていないこと
◇対象事業
令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 1 月 31 日までに八戸圏域内で行われる公益性のあるまちづくり活動のうち、八戸圏域内に所在する大学、短大、高専、専門学校、専修学校等の学生、または高校生がボランティアスタッフとして参加する公益性のあるまちづくり活動
(注意 1) すでに完了した事業も助成対象です。
(注意 2) 中学生は対象になりません。
◇対象経費・助成金額
・活動に参加した学生又は高校生に支払った謝礼又は交通費
・学生又は高校生が参加する活動 1 回につき 1 人あたり 1,000 円以内、1 事業合計 20,000 円を上限とする。
【申請・問い合せ先】
八戸市総合政策部 市民連携推進課 地域連携グループ
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目 1 番 1 号 市庁本館 4 階
電話：0178-43-9182　FAX：0178-47-1485
当助成金の詳細は以下の八戸市ホームページご確認ください↓
https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/shiminrenkeisuishinka/kyodonomachizukuri/2/4147.html

2024 年度 社会福祉事業 NPO 基盤強化資金助成「住民参加型福祉活動資金助成」募集助成金

公益財団法人ＳＯＭＰＯ福祉財団では、福祉および文化の向上に資することを目的に、主として障害児・者、高齢者などを対象として活動するＮＰＯの支援、社会福祉の学術文献表彰、学術研究・文化活動の助成などを実施しています。「住民参加型福祉活動資金助成」では、地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行なう活動に必要な資金を助成します。
◇対象となる団体
下記の＜１＞～＜３＞のすべてを満たしている団体が対象です。
＜１＞募集地域
東日本地区（以下の都道府県）に所在する団体
北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県・愛知県・岐阜県・静岡県・三重県
＜２＞助成対象者
５人以上で活動する営利を目的としない法人格の無い団体（電子申請が可能な団体）
＜３＞助成対象の活動
地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行なう活動
◇助成内容
本助成対象の活動に関する人件費（助成金額の 50%を限度）・物件費
◇助成金額
１団体３０万円を上限とします。（総額４５０万円）
※選考において、申請金額を減額して助成を決定する場合があります。
＜２＞募集期間
２０２４年６月３日 (月) ～７月１２日 (金) １７時
◇当助成金詳細は以下のホームページから確認ができます。
https://www.sompo-wf.org/jyosei/juminsankagata.html
【申請・問い合せ先】
公益財団法人ＳＯＭＰＯ福祉財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1
電話：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257

編集後記

令和 6 年度初めてのわいぐ情報誌 83 号をお届けします。今年度は私たち編集委員が気になる登録団体を紹介する企画もあります。これからも今まで同様、たくさんの方と触れ合いながら、楽しく活動をしていきたいと思っています。市民活動・ボランティア活動に興味のある方、気軽にわいぐへ立ち寄ってください。良い出会いがきっとあなたを待っています。

（佐々木彩子）

～編集発行～
八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター わいぐ」

●編集●
公募編集委員＝松原新一・
佐々木彩子・黒澤美智子・住吉治彦
わいぐスタッフ

〒039－1166
青森県八戸市根城八丁目８－155
八戸市総合福祉会館
（はちふくプラザ　ねじょう）３階
TEL　0178－73－3311
FAX　0178－73－3312
E-mail support@waigu.info
HP　https://www.waigu.info/

facebook
（八戸市市民活動サポートセンターわいぐ）で検索
⇧こちらもご覧ください

⇦わいぐの HP はこちらからも見ることができます。
わいぐ HP

～「わいぐ」という名前について～
青森県南部地方の「私、行く（わぁいぐ）」という方言が元になっています。「市民が積極的に社会の問題に取り組むきっかけの場所になるように」という願いが込められています。

八戸市市民活動サポートセンターふれあいセンターわいぐは、指定管理者企画集団 With you が管理・運営しています。